

障害がある人もない人も一緒に登山を楽しむしろまの会 会報 2016年9月

# しろまニュース

vol. **19**  
山行に行ったら発行

2016

しろまの会 夏山

# 月 山



幹事 高橋正人 日程 2016年8月27-29日 山形県



しろうまの会もすでに創立から四半世紀を超える。新たに会員になった人も多いが全体的に年齢もアップしその分マンパワーも落ちている。こと夏山に関しては、休み等の都合もあり参加出来る人も限られる。

ただ、しろうまの会がこだわって来た夏山。それは日帰りの山行では味わうことの出来ない沢山のエッセンスがあるからだ。

そうは言ってもかつてのようなアルプスの山は難しい。毎回悩むところである。さて？と考えたのが東北の山であるが、アプローチとそれにかかる交通費などを考えると頭の中ではこれまで優先順位が



低かった。

もうそろそろ計画を立てないと間に合わない。とりあえず調べるだけもとリサーチに入る。

最初は岩木山を候補に考える。標高はさほどでもないが独立峰で上まで車で行けるのがメリットだ。ただ交通手段や費用を考えると結構厳しい。そこで色々調べていくうちに月山にあたり着く。標高はそこそこだが、頂上に有人の小屋がある。山小屋に泊まるのも夏山の魅力でもある。登山ルートもリフトを使えば頂上までは、2時間ちょっとのコースタイム。何とかなりそうだ。

しろうまの会に告知して、調査と準備



に取り掛かる。月山は百名山のひとつでもあり会員の中には過去に登った人も多いようだ。

登山当日は、少しガスがかかる天気。登山道は日差しを避けるところがまったくないので丁度良いくらいだ。

朝食を済ませ宿の車で要介助の人はリフトまで送ってもらい、残り的人達は歩いてリフト駅に向かう。

リフトの乗車時間は意外に長く13分。その分、距離と高さを稼いえてくれる。またリフトの下にはリンドウが咲きめぐり時間を忘れさせてくれる。リフトを降りたところで、記念撮影をして班ごとに



登山開始。

道は木道で最初少し登ったあと、下見の時はニッコウキスゲが満開だった草原の斜面をトラバース気味に進む。

すでに山は秋の気配で、花盛りとはいかないものの、ところどころ可憐に咲いて楽しませてくれる。

少しずつ傾斜もきつくなる頃、木道も終わり、稜線からの道と合流すると牛首という場所につく。各班、順調に進んでいるようだ。

牛首から本格的な登山道となり稜線に出るとガスも切れて時折青空がのぞく。庄内平野の向こうに日本海、進行方向にはこれから登る急登の向こうに時折月





山頂上も見える。別名「ガス山（さん）」と言われるくらいなので、これくらいなら上々の天気だ。

景色を堪能して休憩を取ったら岩場の急登に取りかかる。天気の良いか思ったより登山者も少ないようで、狭い場所でのすれ違いもそれほど難儀はしない。

休み休み登るが、早い班は小屋に到着したとの連絡が、こちらの小屋到着1時間以上前であった。

途中鍛冶小屋跡というところにはお地藏さんが立っていてそこには、なにやら流行りのポケモンGOのスポットらしい。

お地藏さんの見送りを受けてひと登りで、芭蕉の句碑が立つ台地上の場所に着いた。風が強くなったが時折ガスを飛ばして青空も見える。

小屋までは平らな道を歩いてもうすぐだ。ほどなく全班小屋に到着。ほぼ予定どおりの時間だ。既に13時を回り他の登山客も下山したらしくほとんど人いない。

荷物を置いたら、全員で月山頂上神社へ向かう。門をくぐるとここからは撮影禁止。

入口で全員お祓いを受けるが、神主さんは受付の窓から半身を乗り出して大幣（おおぬさ）を振る。外には出てこないなので、「手抜きだ」との意見も（笑）。お祓いを受けた後は、人型の小さな紙を渡される。これで全身をなぞって清めて、足元にある石の水瓶に浮かべてから奥社にお参りをする。

奥社は一番標高が高いところにごんまりと建てられている。普通、神社にある狛犬が、ここでは、月にちなんでここではうさぎである。

社は塀で囲まれていた。そこにもいくつもの神様が祭ってある。塀にそって社を一回りしてお守りなどが購入する建物

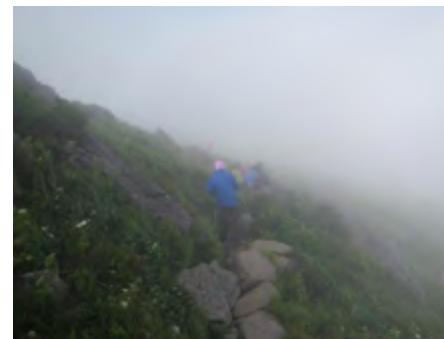


に入る。（ここを通らないと外には出られないようになっている）

ここで朱印帳の購入や記帳もしてくれる。

三角点は神社の裏とのことで先に見に行った人がいるが、見つからないとのこと戻ってくる。風がよくガスも出ているので、視界は数十メートルしかないので無理もない。

確かめに登山道についてロープ沿い登っていく。途中わかりにくい上に向かう踏み跡をたどると三角点に出た。戻って声をかけるとみんな折角来たので三角点まで行きたいらしい。



相変わらず風とガスで景色は見えないが、その変わり時折射し込む西日で、人影がガスに写るブロッケン現象が見られた。

三角点を囲んでみんなで写真を撮って、小屋に戻る。夕食までは時間もあるので大部屋で登頂を祝って乾杯。

夕食は、月山神社を訪れる人向けなのか山菜などを中心した精進料理に近く、山小屋定番のカレーやハンバーグなどに比べ普段口にすることが少ないので珍しくて、かえってうれしい。

そしてビールで乾杯。（このビール代1万円余りは翌日小屋でサービスしてく





れました。実は下見の時に飲んだビールも)

外は相変わらず、風とガスで星空は望めそうにない。夕食後は、みんなおとなしく9時に就寝。

翌朝になっても外の様子は変わらない。むしろ風が強くなったくらいだ。6時に朝食をとり出発の準備。小屋の方ではリフトに電話して運転状況を聞いてくれた。

それによると午前中は何とか運転するが、天気予報から午後は休止とのこと。ちょっと心配だが、とにかく降りるしかない。



最初から雨具を付けて出発。小屋を出るなり強風でザックカバーが飛ばされる。幸いガスで水滴は小さい。雨粒が大きいと顔も上げられないだろう。

急坂に入るあたりで横風から追い風になるので、注意するよう小屋で言われたとおりに坂を降り始めると更に風の影響を受ける。岩も濡れてすべりやすいので慎重に降りなければならない。時々、立ち止まって耐風姿勢をとるような時もある。

牛首を過ぎて木道に入れば風も和らぐと思っていたが一向に変わらない。

急坂を過ぎても油断は出来ない。木道も濡れて滑り易く、1本の木道の幅は



30 cm程度。

もう1本の木道間は場所により1m以上離れているので、横でのサポートが難しい。慎重に降りつつ、リフトからの放送が聞こえてくる。何を言っているのかわからないが駅はもうすぐだ。

なんとか上駅に着きひと息いれてリフトに乗る。下は雲っているものの雨風もない。

リフトに預けておいた車椅子に乗換、迎えに来てくれたロッジの車に乗せてもらいロッジに。ロッジで入浴と食事を済ませ。バスの時間まで少しあるのでまたここで一杯。

最後はベランダで記念撮影をして出発。高速バス乗り場で現地集合の人達とはお別れ。あとは無事新幹線に乗り継ぎ

東京駅で解散。皆様お疲れ様でした。

今回は直前に台風が続けて発生し、毎日週間天気予報と天気図とにらめっこ、でした。

交通手段も初の新幹線利用やバスの乗り継ぎなど登山よりも交通手段のリサーチに苦労しました。そのせいか乗り継ぎではヒヤリということもありましたが、それは反省点として次回に活かしたいと思います。

下山時の天気は、前述のとおりでしたが、登山日には時折、青空や日本海も見えてまずまずでした。

終わってみるとやっぱり夏山はいいなあ。という感想です。

**追伸** 個別に協力をお願いしました方々、ありがとうございました。紙面をかりてお礼申し上げます。

8月27日(土)～8月29日(月) 月山(1984 m) 参加人数 21名(要サポート3名)

**8/27** 天候(東京:雨、現地:曇り時々晴)

9:15 東京駅集合 9:48 東京発(新幹線) → 11:44 仙台着、12:15 発(高速バス) → 14:10 西川BS着、14:20 発 → (町営バス、車) 姥沢 15:10 ロッジやつなみ(泊)

**8/28** 天候(曇り時々晴)

8:15 ロッジ出発 → 8:40 リフト乗車開始 → リフト上駅出発 9:25 → 9:35 姥ヶ岳分岐 → 10:20 姥沢分岐 → 11:15 牛首 → 13:00 鍛冶小屋 → 13:20 発頂上小屋(泊) 13:45 月山神社参拝、16:10 月山頂上(三角点)

**8/29** 天候(ガス、風強し)

7:25 小屋出発 → 8:55 牛首 → 9:35 姥沢分岐 → 10:15 姥ヶ岳分岐 → 10:30 リフト上駅 → 10:50 リフト下駅 → ロッジ(入浴・昼食) 14:20 → 15:25 西川BS → 17:00 仙台 17:44 → 19:48 東京(解散)

# information

★ MLと重複しますが最近の連絡事項の主だったところをまとめておきます ★

## ■ 10月山行 10月16日(日) / 仙元山(299m) 埼玉県小川町

行程(予定) 池袋駅→小川町駅→仙元山→物見山→玉川温泉→明覚駅(八高線)

※行程は、玉川温泉含め下見の結果決めますの未定です。仙元山登山は決定事項。

集合：東武東上線池袋駅、8時台の電車に乗車予定

詳細は、決まり次第参加募集と一緒にお知らせします。

## ■ 次回例会

10/8(土) 18時から 東京ボランティアセンター

10月山行計画

## ■ 「リース遠征隊、上映会&トークセッション」

デンマークの障がい者とその仲間がノルウェーにあるガルピッケン山を登頂するまでを描いたドキュメンタリー映画の上映と講演会があります。しろうまの会として参加したいと思いますので、興味のある方は是非ご参加ください。

11/12(土) 帝京平成大学池袋キャンパス

15時00分 会場

15時30分 開演挨拶、上映(前売りチケット1300円)

16時35分~17時30分 講演会及び質疑応答

18時30分 懇親会(3000円、食事&飲み物込み)



夏山の夕ご飯



月山のおこじょ(?)

■ 2016年も無事の夏山山行お疲れさまでした。ガスが多かったようですが青空ののぞく素敵な風景、写真で楽しませていただきました。■ 7月の山行・葉山の仙元山は誌面の都合により割愛させていただきました。詳細情報はホームページをご覧ください。7月は要サポートなしの晴天山行だったようです。

写真はフォト蔵にアップされています。見に来てね!

## しろうまニュース vol.19

2016年9月23日発行

障害がある人もない人も一緒に登山を楽しむ会 しろうまの会

ご連絡・お問い合わせ(お気軽にお問い合わせください): [shirouma@sd5.so-net.ne.jp](mailto:shirouma@sd5.so-net.ne.jp)

ホームページ: <http://www.shirouma.net>

facebook: <https://ja-jp.facebook.com/shirouma4620>